

Deloitte.

デロイトトーマツ

[カンファレンス]

量子コンピューティングで生み出す 創薬の新たな世界

創薬に大きなインパクトをもたらす量子コンピュータ。
国内外の豪華登壇者がその動向と今取り組むべきことについて語ります。

参加
無料

定員
100名

逐次
通訳

2024. **2/13** 16:00-19:00

@Deloitte Tohmatsu Innovation Park

登壇者



吉野孝之氏
国立がん研究センター
東病院副院長
日本癌治療学会理事長



Christophe
Jurczak
Quantonation
Managing Partner



Robert Marino
Qubit
Pharmaceuticals
CEO



Georges-Olivier
Reymond
PASQAL
CEO



今井光穂氏
国立がん研究センター
東病院
医薬品開発部門



Jeremy O'Brien
PsiQuantum
CEO



Julien Camirand
Lemyre
President & CTO
Nord Quantique



寺部 雅能
デロイトトーマツ
コンサルティング
量子技術統括

会場：Deloitte Tohmatsu
Innovation Park
新東京ビル3階
〒100-0005
東京都千代田区丸の内3丁目3-1



主催：デロイトトーマツコンサルティング 共催：Quantonation
後援：サステイナブル量子AI研究拠点 (SQAI)

概要

世界で開発競争が過熱する量子コンピュータ。その最先端の動向と医療界に引き起こされるインパクトについて国内外の有識者が語ります。

数年前までは「技術的なハードルが高く、商用化はかなり先」とされてきた量子コンピュータですが、現状、世界各国で開発・商用化に向けた取り組みが加速しています。IBMは、ヨーロッパ初の量子データセンターを開設する計画（24年に運用開始予定）を23年6月に発表しました。また、21年10月にニューヨーク証券取引所に上場したIonQ（米国のイオントラップ方式量子コンピュータ開発企業）は、クラウド向けのみならず、ラックマウント式量子コンピュータの販売も予定しているなど、各社で具体的な取り組みが進められています。一方で国内の動きとしては、日本政府が23年4月に発表した「量子未来産業創出戦略」において、「2030年目標：量子技術による生産額を50兆円規模に」といった明確な方向性が示されており、国内外で、量子コンピュータ本格活用に向けた機運が急速に高まっています。

本イベントでは、がん患者に最適な治療「プレジジョン・メディシン（個別化医療）」を推進する世界有数のゲノムスクリーニングプロジェクト「SCRUM Japan」を率い、病院へのスパコン導入をはじめ数々の最先端テクノロジーと医療現場の融合に挑戦している国立がん研究センター東病院の吉野孝之氏と今井光穂氏が、医療界の課題と量子コンピュータの可能性について語ります。

また、世界最大の量子技術への投資家である、量子特化ベンチャーキャピタルQuantonationの代表Christophe Jurczakからは投資家から見た量子産業の未来をお話し頂き、世界最大級の創薬向け量子ソフトウェアスタートアップであるフランスのQubit PharmaceuticalsのCEO Robert Marino氏から、量子コンピュータを創薬にどう生かせるかについて世界トップレベルの知見でお話し頂きます。量子コンピュータのハードウェアの進化と医療分野での実証事例について、量子コンピュータスタートアップであるフランスのPASQAL、カナダのNord Quantiqueからお話し頂きます。

量子コンピューティングの基礎的な部分についてはデロイトトーマツコンサルティングで量子技術統括を務める寺部雅能より平易な解説を行いますので、専門知識がない方でもご参加頂けるイベントになります。

なお本セミナーは継続開催を予定しており、各企業での量子コンピュータ活用はもちろん、国内全体の取り組みを支援できるプラットフォーム・ネットワークの構築を目指しております。

ぜひ今後のご検討・取り組み推進のインプットとして活用いただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

アジェンダ

アジェンダ

16:00-17:40 カンファレンス

1. 開会挨拶
デロイトトーマツ コンサルティング 根岸彰一
2. 来賓ご挨拶
フランス大使館 Jean-Baptiste BORDES氏
3. 創薬の課題と量子技術の重要性
国立がん研究センター東病院 吉野孝之氏、今井光穂氏
4. 量子コンピュータの技術動向と創薬へのインパクト
デロイトトーマツ コンサルティング 寺部雅能
4. 世界最大の量子投資家から見える量子産業の未来
Quantonation Christophe Jurczak氏
5. 量子創薬最前線-これまでの学びと前進への道-
Qubit Pharmaceuticals Robert Marino氏
6. Business readyに向かう量子コンピュータ-創薬分野の成果報告-
PASQAL Georges-Olivier Reymond氏
7. 汎用量子コンピュータ時代のアプリケーション開発
Nord Quantique Julien Camirand Lemyre氏
8. 汎用量子コンピュータによる創薬開発
PsiQuantum Jeremy O'Brien氏

17:40-19:00 ネットワーキング

申し込み

以下のフォームからお申し込み下さい。

<https://tohatsu.smartseminar.jp/public/seminar/view/46613>

※定員の関係上ご希望に添えない場合がございます



想定聴講者

製薬関連企業CxO・R&Dリーダー、政府関係者、
投資家の皆様

登壇者プロフィール

国立がん研究センター東病院 副院長, 日本癌治療学会理事長, 吉野孝之氏



日本1971年千葉県生まれ。国立がん研究センター東病院 副院長(研究担当)、医薬品開発推進部門長、消化管内科医長。

1995年防衛医科大学卒業、同病院研修医。97年国立がんセンター中央病院臨床検査部・病理部研修医、99年同東病院内視鏡部消化器内科研修医、2002年静岡県立静岡がんセンター消化器内科副医長、05年Mayo Clinic, college of medicine, Vanderbilt-Ingram Cancer Center, Dana-Farber Cancer Institute留学、07年国立がんセンター東病院内視鏡部消化器内科医員、10年国立がん研究センター東病院 消化管内科外来・病棟医長を経て14年から22年まで消化管内科医長。22年より副院長(研究担当)、医薬品開発推進部門長、データサイエンス部長、23年より消化管内科医長。23年10月より日本癌治療学会理事長。日本臨床腫瘍学会、日本癌学会、日本医学会、ASCO(American Society of Clinical Oncology)、ESMO(European Society for Medical Oncology)等に所属。BEST DOCTORS IN JAPAN 2020受賞。ASCO 2022プレナリーセッション日本人初選出。

Quantonation, Founder and Managing partner, Christophe Jurczak氏

世界最大の量子投資家。アメリカ、フランスに拠点を置く量子分野特化のアーリーステージベンチャーキャピタルQuantonationの創業者、代表。

Quantonationは2023年12月現在、世界で26件の投資、1億AUMの実績を持ち、12月には目標AUM2億ドルの第2号ファンドを立ち上げた。Christopheは、エネルギー、防衛、新興の量子産業で政府要職や重役を歴任。パリのEcole Normale Supérieureでノーベル物理学賞受賞者であるAlain Aspect教授の下、冷却原子での量子物理学博士を取得。スタートアップQphoX、Pasqal、Qubit Pharmaceuticals、WeLinQ、Nord Quantique、NPOであるUnitary Fund（米国）、PINQ2 Platform for Digital and Quantum Innovation（カナダ）の役員を兼務。



Qubit Pharmaceuticals CEO, Robert Marino氏



フランスに拠点を置く創薬アプリケーション特化の量子ソフトウェアスタートアップQubit Pharmaceuticalsの代表。

2020年の創業以来、ロバートは同社の戦略、投資家向け広報活動、商業的実行を担当している。ロバートはQubit Pharmaceuticalsの前にCollective Venturesを共同設立し、ディープテック・スタートアップ向けの欧州最大のアクセラレーション・プログラムであるDeeptech Foundersプログラムを運営している。2019年以降、同プログラムは200チーム以上を支援した。特にPasqal、Alice & Bob、Quoblyといった量子スタートアップの立ち上げと成長を支援した。ロバートは技術移転と起業家精神において20年近い経験を持っている。ロバートは化学者であり、量子メモリに関する博士号を取得している。

PsiQuantum CEO, Jeremy O'Brien氏

アメリカに拠点を置く資金調達額世界最大の量子コンピュータハードウェアユニコーンスタートアップ企業であるPsiQuantumの代表。

世界で初めて商業的に有用な量子コンピュータを開発し、気候変動技術、エネルギー、製薬、防衛、金融サービスなど、私たちが直面する最大の課題に取り組むことを使命としている。彼は量子コンピューティングが、不可能とされてきた問題を解決する可能性を秘めた、世界を大きく変えるテクノロジーであることを認識し、このミッションに25年間を捧げてきた。



登壇者プロフィール

PASQAL CEO, Georges-Olivier Reymond氏



フランスに拠点を置くヨーロッパ最大級の量子コンピュータハードウェアスタートアップ PASQALの代表。フランスのInstitut d'Optique in Palaiseauの10年にわたる最先端プロトタイプを、産業界で使用可能な量子コンピュータに変換するパイオニア。量子光学博士。中性原子のブレークスルーとなった論文を執筆。多国籍航空宇宙企業やハイテク新興企業で20年以上にわたって研究開発から市場投入まで複雑なプロジェクトを推進してきた実績をもとに、リーダーシップを発揮してきた。

Nord Quantique President & CTO, Julien Camirand Lemyre氏

カナダに拠点を置く量子エラー訂正とフォールトトレラント量子コンピューティングのリーディング・スタートアップであるNord Quantiqueの共同設立者兼CTO。量子コンピューティング・ハードウェアのスケールに関する物理学博士号。量子技術開発のリーダーであり、量子ハードウェアの垂直統合において10年以上の経験を積み、豊富な専門知識で会社をリード。量子コンピューティング最大の課題である量子エラー訂正に真正面から取り組み、量子コンピューティングの分野を発展させるために、世界クラスの研究開発チームを結成。量子コンピューティング分野における共創とイノベーションに情熱を燃やす。



国立がん研究センター東病院 医員・医学博士, 医薬品開発推進部門 医薬品開発推進部, トランスレーショナル推進室 国際研究推進室 遺伝子診療部

今井光穂氏



専門は消化器腫瘍学、ゲノム医療。東京大学大学院を卒業後、米国UCSFにてポスドクとして基礎研究に従事。帰国後、慶應義塾大学においてゲノム外来やゲノム医療基盤整備に関するワーキンググループに携わる。現在は国立がん研究センター東病院にてTR研究、ゲノム外来に従事する傍ら、SCRUMプロジェクトにて集積されたビッグデータを用い、AI解析や量子解析の可能性を追求している。

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社, 量子技術統括, 寺部雅能

量子コンピュータの産業界を黎明期よりリード。自動車業界、総合商社を経て2023年より現職。現在、経産省量子AI国プロ委員長、ベンチャーキャピタルのアドバイザー、海外の量子技術コンテストの審査員も務める。量子分野において数々の世界初実証や日本で最多件数となる海外スタートアップ投資実行を支援し、広いグローバル量子人脈を保有。国際会議の基調講演やTV等メディア発信も行い量子業界の振興にも貢献。著書「量子コンピュータが変える未来」。



デロイトトーマツグループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーであるデロイトトーマツ合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイトトーマツ コンサルティング合同会社、デロイトトーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイトトーマツ税理士法人、DT弁護士法人およびデロイトトーマツ コーポレート ソリューション合同会社を含む）の総称です。デロイトトーマツグループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市に約1万7千名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイトトーマツグループWebサイト（www.deloitte.com/jp）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイトトウシュートマツリミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTLおよびDTTLの各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTLはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、リスクアドバイザー、税務、法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約415,000名の人材の活動の詳細については、（www.deloitte.com）をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

© 2023. For information, contact Deloitte Tohmatsu Consulting LLC.